

団体名（所在地）	団体概要・活動実績	助成対象事業				助成金
		交流相手	交流人数	日程	内容	
大船渡復興まつり実行委員会 (岩手県 大船渡市)	東日本大震災以後、三陸の文化継承および被災地の復興を図るため、郷土芸能団体が集い復興祭を開催。福祉施設や小集落にて共同の演奏会、相互交流会を実施。	大韓民国	招聘10名	平成27年10月15日～10月18日	「東北と世界を結ぶ祭博2015」として、東北を代表する盛岡市「さんさ踊り」、秋田市「竿燈」、山形市「花笠踊り」、三陸沿岸被災地の復興を牽引する郷土芸能「虎舞」（大船渡市、大槌町、釜石市）そして韓国の伝統芸能である農楽のグループ「高敞農楽保存会」が集結。総勢300名が復興祭として国道を練り歩き、親睦ワークショップ等を行う。	50万円
天人疾風の会 (栃木県 益子町)	平成16年、益子町村合併50周年記念太鼓曲「益子天人」ならびに「陶製3尺大太鼓」、「陶製桶胴太鼓」のお披露目コンサートのために組織された実行委員会が「天人疾風の会」として発展、発足。町内外でのイベント出演や2年おきに定期演奏会を開催。	アメリカ	招聘23名	平成27年6月14日～6月20日	林英哲氏により創作された太鼓組曲「益子天人」の演奏を契機に結成された太鼓グループ「天人疾風の会」と、同時期に林英哲氏による太鼓指導を契機に結成されたアメリカ・オハイオ州ダブリン中学の太鼓グループ「ダブリン太鼓」が益子町の中高生と共に合同演奏会やワークショップを行う。	50万円
銚子はね太鼓保存会 (千葉県 銚子市)	江戸時代から銚子に伝わる「祭り太鼓」の伝承を目的として昭和50年に発足。千葉県の姉妹州であるアメリカ・ウィスコンシン州への派遣をきっかけに、文化交流や先住民との太鼓共演を実施。	アメリカ	派遣18名	平成27年7月15日～7月21日	夏休みの期間を利用して子どもたちが中心となり、アメリカ・ウィスコンシン州の学校や施設を訪問。郷土芸能である太鼓を披露し、日本文化を伝えると共に地元市民との共演やホームステイを通して交流を図る。	50万円
合唱組曲「五色桜」制作委員会 (東京都 足立区)	日米友好の架け橋となった「五色桜」と「ハナミズキ」を巡り、平和への想いを歌を通して次世代に伝えることを目的に設立。平成26年3月に作曲者・大中恩の指揮により、合唱組曲「五色桜」を初演。	アメリカ	派遣45名	平成27年4月3日～4月9日	ハナミズキが贈呈されて100周年の節目として、ワシントンDCにて開催される全米桜まつり会場でコンサートを実施。ニューヨークのカーネギーホールにて、現地合唱団と合同で合唱組曲「五色桜」の公演を行う。	50万円
日本ラトビア音楽協会 (神奈川県 相模原市)	音楽を通じて永い友好関係を深めることを目標に設立された、日本最大の対ラトビア友好団体。ラトビアの歌をラトビア語で歌う混声合唱団「ガイスマ」を創設し、歌の祭典への出演や音楽祭を開催。	ラトビア	招聘1名	平成27年5月19日～5月23日	ラトビアを代表するアマチュア女声合唱団「ジントルス」を招聘し、ラトビア音楽祭を開催。「ガイスマ」をはじめ、全国各地の合唱団が参加し、ラトビアの歌を披露。参加団体による合同合唱を行う。	50万円
「青の祭典」実行委員会 (新潟県 十日町市)	世界最大規模の国際芸術祭「大地の芸術祭」への参加を目的として設立。平成21年、平成24年の同芸術祭に参加し、沖縄県小林市・新潟県十日町市の神楽や合唱のコラボレーションによる「沖縄自由学校」等を実施。	ネパール	招聘12名	平成27年7月31日～8月3日	ネパールギャラクシースクールの高校生を招聘し、沖縄県石垣市の高校生ならびに開催地である新潟県十日町市の高校生が集い、大地の芸術祭「青の祭典」に参加。伝統芸能の披露や合同合唱の公演を行う。	50万円
モスクワ・パラシハ市「スラブの祭典」国際合唱祭参加実行委員会 (静岡県 島田市)	合唱祭に参加する「島田児童合唱団カナリヤ」はコーラス活動を通し青少年の教育を目的として発足。旧ソ連のパトリープキ合唱団とのジョイントコンサートをきっかけに、ロシアとの音楽交流を実施。	ロシア	派遣22名	平成27年5月12日～5月21日	モスクワ・パラシハ市にて開催される「スラブの祭典」国際合唱祭へ参加し、地元の合唱団である「カンチレーナ合唱団」と共演。学校訪問コンサートやホームステイを通して市民との交流を図る。	50万円
富田人形共遊団 (滋賀県 長浜市)	天保6年頃に富田町に伝承された人形浄瑠璃「富田人形」の保存と継承を目的として活動。県内外で年25回程度の出張公演や、年2回の定期公演、北米やドイツ等での海外公演も実施。	アメリカ	派遣10名	平成28年3月18日～3月28日	アメリカ・サウスカロライナ州グリーンビル市の大学や高校、施設にて人形浄瑠璃の演目を上演。日本で開講している「富田人形サマースクール」に参加経験のある現地の学生たちが舞台・照明等を担当するなど、両国共同で公演に携わることにより交流を深める。	50万円
特定非営利活動法人 全国邦楽合奏協会 (徳島県 徳島市)	邦楽の普及と発展、地域文化の振興、そして次世代への継承を目的として活動。日本初となる邦楽の全国組織として、コンサートやフェスティバルをはじめ、邦楽の素晴らしさを発信する事業を実施。	大韓民国	派遣24名	平成27年5月1日～5月3日	韓国海洋大学の混声合唱団「Sea Cross」とのジョイントコンサート及び日韓伝統芸術交流音楽会を開催。両国の伝統音楽の披露や合同演奏、楽器体験ワークショップを行う。	50万円
特定非営利活動法人 和田重次郎顕彰会 (愛媛県 松山市)	松山市日の出町出身のアラスカ開拓者・和田重次郎の偉業と、母・セツへの孝養の精神を顕彰することを目的に結成。松山市や東温市にて、和田重次郎の生涯を描いた地元のアマチュア劇団みかん一座ミュージカル「オーロラに駆けるサムライ～和田重次郎物語～」を上演。	アメリカ	派遣53名	平成27年4月28日～5月6日	アジアの文化をアラスカの人たちへ紹介する「アジア・カルチャルナイト」にて和田重次郎のミュージカルを上演。日本文化の紹介として、ミュージカル内で尺八演奏や日本舞踊を披露するほか、学生をはじめとする現地の住民との文化交流会を行う。	50万円
特定非営利活動法人 熊本インドネシア友好協会 (熊本県 熊本市)	熊本県出身でインドネシア在住の実業家が、故郷の玉名市でインドネシアの伝統芸能等を披露したことをきっかけに発足。インドネシア在住の大学生による日本語ミュージカル劇団「en塾」の公演や、インドネシアの民族楽器と西洋楽器・邦楽器とのコラボレーションコンサートを実施。	インドネシア	派遣3名	平成27年5月31日～6月4日	熊本の若手音楽家3名を派遣し、現地の現役大学生による日本語ミュージカル「en塾」との交流コンサートを開催。大学など高等教育機関の学生たちとの交流会や、バリ島にて単独コンサートを行う。	50万円
宮古島市ジュニアオーケストラ (沖縄県 宮古島市)	宮古島市内の小学校2校の課外活動として設立した弦楽クラブを母体とし、現在は4～20歳までの宮古島市在住ならびに宮古島市出身者の40名で組織されている。沖縄や東京で音楽を学ぶ子どもたちとコンサートを開催するほか、ドイツの青少年オーケストラや世界的巨匠を招き、共演・指導を受ける。	ドイツ	派遣62名	平成28年3月25日～4月1日	マンハイム市内の教会や音楽学校ホールにて、マンハイム市立音楽学校青少年オーケストラとの交歓コンサートを開催。滞在中は同団員宅にホームステイし、親睦を深める。	50万円